

憲法をくらしと政治にいかす 改憲NO! あいち総がかり行動

発足総会



菅政権に立ち向かう、新たな闘いを

「憲法をくらしと政治にいかす改憲NO! あいち総がかり行動」の発足総会が11月23日午後、イーブルなごやホールで行われ、149名が参加しました。2015年、安民法制強行採決に反対し「安倍の暴走を止めよう愛知共同行動実行委員会」、「安倍改憲N

○! あいち市民アクション」はこの5年間、これまでの共同を大きく広げ団体や個人が集まり地道に繋がりを生み、信頼を高めてきました。発足集会では、中谷雄二弁護士が、情勢をめぐっての報告とあいち総がかり行動発足に至る経過を提起しました。申し合わせ事項も確認しました。

共同代表(中谷雄二・長峯信彦・高橋信・塚田聡子)と事務局(山本みはぎ)、次長(浅井昇、近田美保子)を、選出。賛同する個人・団体のみなさんへ参加を呼びかけています。(参加申し込み用紙参照)
* 団体1口3千円
* 個人1口1千円

近ごろ 思う こと 61

和田 肇
(名古屋大学
名誉教授)



菅政権による日本学術会議会員の任命拒否は、政府や自民党の体質、そして抱える多くの問題点を明らかにしている。第1に、この問題は、

日本学術会議による会員の推薦と、それに基づく首相による任命という日本学術会議法の規定に反し、独立した機関への不当な政治介入である。内閣府は、公務員の任命権が国民の権利であるとす憲法15条、および行政

機関に対する首相の指揮監督権を定める同法72条を根拠に首相の任命拒否を正当化するが、それは日本学術会議が政府との関係で独立性を認められていることを無視する議論である。第2に、首相には任命について裁量権があるとすれば、これまで政府が国会で明らかにして

日本学術会議会員 任命拒否問題が 提起すること

きた、「任命は形式行為に過ぎない」との公定解釈を破るもので、法治主義(法による行政)に反している。検事総長候補者の定年を定めた法律に反し定年延長を強行しようとしたことと、同じ過ちを犯している。第3に、研究者の自由とその集団の制度的自由・

自律性(自治)を内容とする学問の自由の侵害となる。SNS等を通じて、拒否された研究者の学生にも被害が及んでいる点では、教育権の侵害でもある。第4に、政府とそれに同調する研究者やジャーナリズム(櫻井よしこなど)によって行われている学術会議批判は、市民の間に研究者との分断を持ち込んでいる。また、その多くは事実を反したリ歪曲しており、反知性主義となっている。これは杉田水脈問題など、自民党でしばしば見られる問題でもある。

以上のことは、憲法無視の自民党の体質を改めて白日の下にさらした。それはまた、長年続いた自民党政権のおごり、暴走、腐敗といつてもよい。良識ある市民の連帯がその対立軸(オルタナティブ)となる。

*和田肇さんは2020年6月号に「コロナ禍から考える 社会の在り方」と題してインタビューに登場していただきました。

市民と野党の共闘 前進へ

革新・愛知の会総会では、地域・職場革新懇から各地の総選挙にむけての「市民と共闘」の取り組みが生き生きと語られました。先の総選挙後、県内でも市民と野党の共闘を広げようと奮闘がひろがっています。取り組みを紹介します。

■愛知1区…「市民と野党をつなぐ会愛知1区」、「愛知1区から政治をかえようよ」

11月29日には、革新・北の会の呼びかけでつなぐ会@愛知1区、吉田つねひこ衆議院議員も参加。日本学術問題で街頭宣伝。これまでも桜を見る会など立憲野党の参加で街頭宣伝、「選挙にいこうよ」スタンディングを行っている。



立憲民主党吉田つねひこ議員

■愛知2区…2016年11月に結成「あなたとわたしでつくる政治@千種・名東・守山」

種子法反対、水道法改善などの学習会、シンポ「アベ政治と民主主義」、市民と立憲野党参加の街頭宣伝、投票率を上げるために「こんなことに困っていますか」チラシ1万枚作成、交差点での宣伝をすすめている。

■愛知3区…「みんなが主人公の政治をつくる市民アクション@愛知3区」今年2月には「国会報告と国会議員との懇談会」日本共産党、立憲民主党、新社会党、緑の党東海が参



立憲野党の参加で合同街頭

加。7月には八事交差点で100名参加し、街頭アピール。政策づくりとアンケート活動を実施中。

■愛知4区…「つなぐ会@愛知4区」、「野党共闘!市民アクション愛知4区」立憲野党

の参加で公開討論会、立憲野党と市民の共同街宣など。9月「要求・政策討論会」を開催、政策を作成。11月1日に金山駅で立憲野党の合同街宣を行った。11月29日には立憲野党と「愛知4区での統一候補をめざす懇談会」を開催。

■愛知5区…市民連合@愛知5区を結成、5区選出の立憲民主党赤松広隆氏への働きかけを行う。

■愛知6区…「市民アクション@愛知6区」2017年結成。3千7百名、様々な学習会、2019年650人の参加で「子どもの未来フェスティバル」、立憲野党との懇談、「選挙に行こう」宣伝、「地元の声を国政に」シンポ、10月「次期総選挙に向けて市民と立憲野党の対話集会」を開催。

■愛知7区…「市民と野党をつなぐ会@愛知7区」2016年に設立。2019年からの二年間は市民と野党の懇談会、7区での共通政策を作成、10月には第4回の市民と野党の懇談会を開催。社民党、新社会党、共産党、立憲民主党、緑の党東海が参加。7つの市に市民と野党の共闘組織が

10区に合った政策要望をつくる。

■愛知11区「安倍政治を許さない野党共闘をすすめる豊田・みよしの会」6月末に国民民主党県連を通じて懇談を申し入れたが連合(労働組合)との関係で断られた。6団体が参加している。

■愛知12区…2017年総選挙から「市民と政治がつながる会@愛知12区」月一回の運営委員を開き、立憲野党中央に「野党連合政権について話し合っほしい」と要請。
■愛知13区…「愛知13区市民連合」13区の5自治体を網羅する11人の代表委員を確認、政策委員会を設置し政策の素案を作成。
■愛知14区
■愛知15区…安倍改憲NO!アクションなどの動きがある。